



「才能よりも、もっと大切なもの」

教頭先生より



教頭 有富 慎一

4 月に新入生が入学し、早いものでもう 4 か月過ぎようとしています。本校は、多くの行事が実施される中、生徒達は活き活きと学校生活を送り、部活動にも熱心に打ち込んでいます。

県高校総体では、全校応援で多

くの生徒が涙と感動を体験しました。

6 月 8 日には、高校生ものづくりコンテスト鹿児島大会が本校をメイン会場として開催されました。何か月も前からこの日のために修練を重ねてきた生徒たちの技術の高さと集中力に驚かされました。

また、様々な資格を取得するため、部活動で疲れた身体でも、朝補習に懸命に取り組む生徒達の姿をととても頼もしいと思いました。

頑張っている生徒達の姿に劇団四季代表の浅利慶太氏

のお話を思い出します。浅利さんによると劇団四季でのオーディションでは、10秒で受験生の資質は見えるそうです。しかし、その人の持つ「根性」と「祈り」そして強く生き抜く「意志」は、実際の稽古でしか分からないとのこと。人は誰でも個性と才能を持っている。それを開花させるかどうかは、自分の心の中にある「何事か成し遂げたいという祈り」や「何者かになりたいという意志」それこそが人生で最も大切であると言われます。そして、不平等な演劇の世界を生き抜く唯一の道は「努力」、稽古場で流す汗と涙と、気が遠くなるような努力の中にある「祈り」であるとおっしゃっています。

本校のスローガンは「夢実現」です。夢に全力で立ち向かい、それが成就したとき、あるいは少しでも近づいたとき、人は幸福を感じるものです。1日1日を大切にしてください。これからも、それぞれの夢の実現のために努力する生徒たちを、職員一丸となって最後まで応援し続けたいと思います。

夏休みにむけて

生徒指導部

この夏休みをいかに充実して過ごすかが、今後の高校生活を左右すると言っても過言ではないと思います。次のようなことに気を付けて実りある夏休みにしてほしいです。

1 目標を持って充実した夏にする。

- (1) 3年生にとっては、自分の人生の大きな岐路となる大切な夏休みです。進学や就職に向けて学習や面接練習にしっかり取り組もう。
- (2) 1・2年生にとっては、基礎づくりの夏休みです。この夏につけた力が秋以降の成長に大いに影響します。暑い夏こそしっかり頑張ろう。
- (3) 家族との時間を大切にする夏休みです。日頃できない家庭での役割を果たし、感謝の気持ちを表し、家族の時間を大切にしよう。

2 事件や事故のない夏にする。

毎年、夏休みには多くの水難事故・交通事故や犯罪が起きています。鹿工生がその犠牲者にならないように、次のことに注意しよう。

- (1) 遊泳禁止の場所への立ち入りは、絶対に禁止する。
- (2) 自転車の傘差し運転・二人乗り・携帯やイヤホンをしながらの運転などを絶対にしない。
- (3) ゲームセンターや遊技場への立ち入りは、絶対に禁止する。
- (4) カラオケボックスは「高校生入場許可」の店に限り利用し、19時には店を出る。
- (5) 出会い系サイト・フェイスブック・ツイッター・ライン等でトラブルに巻き込まれないようにして、携帯・スマホ・インターネットの安全で健全な利用に努める。

3 問題行動のない夏にする。

次のことに注意して、気持ちよく二学期を迎えよう。

- (1) 夏祭りや六月燈などでは「鹿工生らしさ」を忘れず、品位ある行動・マナーの遵守に心がける。
- (2) 飲酒・喫煙・薬物乱用などが絶対ないようにする。
- (3) 万引き・窃盗・暴力行為などに絶対関与しないようにする。
- (4) 友人宅への外泊・夜間外出・深夜徘徊など絶対ないようにする。

第12回高校生ものづくりコンテスト鹿児島県大会

本大会は、工業高校生の技術・技能の向上を目指し、将来の工業界を担う人材を育成することを目的とし、今年で12回目の開催となりました。6月8日（土）（旋盤作業は7日～）に、旋盤作業・電気工事・電子回路組立・化学分析・木材加工の5部門が本校、測量は加治木工業高校、家具・工芸は隼人工業高校、自動車整備は鹿児島情報高校で開催されました。15校から87名の学校代表選手が参加し、熱戦が繰り広げられました。

本校の選手は、測量と家具・工芸の2部門で最優秀賞に輝き、7月に大分県で開催される九州大会への切符を手に入れました。全国大会（家具・工芸部門は九州大会まで）に出場するためには、難関の九州大会を勝ち抜かなければなりません。九州大会までに、更なる技術・技能の向上をはかり、練習の成果を十分に発揮することを期待しています。



旋盤作業部門



電気工事部門



電子回路部門



測量技術部門



家具・工芸部門



工業化学部門



木材加工部門

心肺蘇生法講習会

1学期末考査2日目7月2日（火）午後1時より、体育館メインアリーナにおいて心肺蘇生法講習会が行われました。鹿児島市消防局西消防署から5名、消防分団から8名、計13名の指導員の方々に来て頂き、各部活動一年生代表102名に細やかで丁寧な指導をして頂きました。

最初、全体指導の形で、迅速な応急手当の重要性、心肺蘇生法の手順、AEDの使用法について説明を受けました。その後、小グループに分かれて訓練人形を使つての胸骨圧迫法とAEDの使用法を実際に体験しました。どの生徒も、真剣に取り組んでいました。



最近、ほとんどの公共施設にAEDが設置されており、本校にも、2号館保健室前、体育館2階体育科職員室前、伊敷グラウンド製氷室内の3か所にAEDが設置してあります。緊急時にはいつでも活用できるように、使用法を覚えておきましょう。

ものづくり大会に入賞して

[測量競技部門]

建設技術系 3年

南 怜生・朝隈 和也・前田 卓海

私たち建設研究同好会の3名は、6月8日に加治木工業高校で行われた第12回高校生ものづくりコンテスト鹿児島県大会測量部門において、最優秀賞を受賞することができました。大会当日は曇りで測量競技には絶好のコンディションでした。測量競技は屋外で実際に測る外業と、その測量結果を計算する内業とがあります。外業に関しては、誤差が大きくならないように、普段の練習以上に慎重に測量しました。内業に関しては、計算の途中でデータの誤差がわかるのですが、普段より大きな誤差が出ており少し落ち込みました。しかし、最後まで希望を捨てずに頑張ろうと気持ちを切り替えて計算を続けました。おそらく計算のミスがなかったことが優勝につながったのだと思います。

九州大会では、鹿児島県大会での反省点を修正し、今までの練習の成果を十分に発揮できるように万全の態勢で臨みたいと思います。



[家具・工芸部門]

建築系 2年

永田 一星

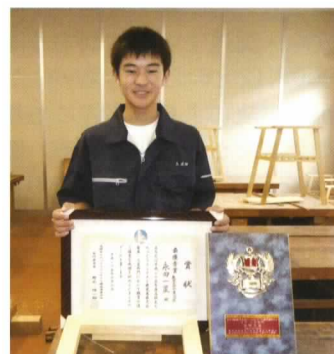
私は6月8日に行われた「ものづくりコンテスト鹿児島県大会 家具・工芸部門」に出場させていただき、最優秀賞を受賞することができました。

本番の一週間ほど前から緊張が続き、当日を迎えました。緊張のせいで手足が震えて、鋸（のこ）がしっかりと握れませんでした。しかし、鋸を置いて呼吸を整えることで作業を続けることができたので安心しました。

作業は練習の時より時間をかけてしまい、仕上げの鉋（かんな）にあまり時間をかけることができませんでした。九州大会への課題にしたいと思います。

この結果を残すことができたのは、先生方や家族、友達が周りにいてくださったからだだと思います。ありがとうございました。

九州大会でも最優秀賞を獲得することを目標に日々の練習に取り組もうと思います。



第12回高校生ものづくりコンテスト鹿児島県大会 本校結果一覧

競技部門	順位	受賞者	氏名	学科
旋盤作業	3	優秀賞	中川路 浩 士	M3
電気工事	3	優秀賞	濱 田 文 也	E3
電子回路組立	2	優秀賞	合 屋 厚 志	S3
化学分析	3	優良賞	橋 本 祥 汰	K3
木材加工	3	優良賞	武 井 舜	A2
家具・工芸	1	最優秀賞	永 田 一 星	A2

競技部門	順位	受賞者	氏名	学科
測 量 (3人1チーム)	1	最優秀賞	南 怜 生	C3
			朝 隈 和 也	C3
			前 田 卓 海	C3
	2	優 秀 賞	上大田 幸 一	C2
			中 間 光 優	C2
			塩 村 駿	C2

学寮避難訓練

1学期末考査3日目の7月3日（水）、学寮にて午後3時から防災避難訓練が実施されました。今回は火災を想定した訓練で、一次訓練では避難経路の確認と各係の役割分担、二次訓練においては消化器の取扱いや消火栓による放水訓練を行いました。鹿児島西消防署と大脇消防商事のご指導の下行われ、日頃抜いに慣れていないだけに、寮生たちは真剣な表情で聞いていました。また火災が起きたときの正しい緊急通報の仕方や周りにいかに早く伝えるかなどの指導もして頂き、とても実りある訓練となりました。



学寮では緊急時の連絡や初期消火も生徒主体でやらなければなりません。いざという時に備え、今回の事をしっかりと心に留めて欲しいと思います。

同窓会慰霊祭・総会・懇親会

平成25年7月13日（土）

13時から亡師・亡友慰霊祭が厳かに行われました。改めて衷心よりご冥福をお祈りいたします。その後、城山観光ホテルギャラリーにて、平成25年度同窓会総会が行われました。昨年度の活動報告や会計決算報告、今年度の予算案などが審議されました。また、永年に亘り、同窓会本部及び支部の設立や運営にご尽力された会員4名の方が名誉会員として承認されました。夕方からのエメラルドホールでの懇親会は、毎年恒例の吹奏楽部演奏・部活動紹介が行われ、生徒会長や各部活動主将により、日頃の感謝や決意表明が述べられました。今年の総会は「和～心をつなぐ～」のテーマの元、今年度、総会実行委員会（平成4年卒）の方々が一年前から準備をしてこられ、旧職員・現職員・PTA・卒業生の方々と約500名が参加され、盛り上がりを見せました。また、イベントでは105年の学校の移り変わりや新校舎の様子をスライドで流し、懇親会に華をそえました。実行委員会の皆様本当にお疲れ様でした。最後に、今回の慰霊祭、総会を開催するにあたり、多大なるご協力をいただきました本校卒業生や職員、生徒方々に、心から感謝申し上げたいと思います。



交通教室

7月11日に交通安全教室を実施しました。

自転車交通安全教育の映像を視聴し、鹿児島西警察署の下田様による交通安全・交通マナーに関する講話の内容で実施しました。本校は800人以上の自転車通学生がおりますが、普段の何気ない運転から事故により被害者にも加害者にも成り得るのだということを認識できたと思います。鹿児島県内でも1年間に9000件以上の交通事故が発生しており、自転車の事故が身近なところで起こっていることを知ることができました。運転中の状況にどのような危険が潜んでいるかを予測し、事故を回避することが重要であることを再認識し、日頃における自分自身の運転マナーを見直す良い機会になりました。



さよなら旧校舎



旧校舎 お別れ

夏休み・9月の主な行事

- 7月19日(金) 終業式・壮行会
- 22日(月)～30日(金)
 - 3年生三者面談・進学課外(前期)
- 26日(金) 中学生日帰り体験入学
- 8月 4日(日) 消防設備士試験
- 19日(月)～27日(日) 3年生進学課外(後期)
- 20日(火) 親子もの作り教室
- 24日(土) 危険物取扱者試験(本校)
- 9月 1日(日) 品質管理(QC)検定
- 2日(月) 始業式
- 3日(火) 学年学級PTA
- 4日(水)・5日(木) 実力考査
- 16日(月) 就職選考開始
- 21日(土) 第66回大運動会



ホームページ <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/kagoshima-T/top.html>
 E-mail kagoshima-t-sh@edu.pref.kagoshima.jp
 携帯用サイト <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/kagoshima-T/mobile/mtop.html>